

文献

- 東 清和, 鈴木 淳子.(1991).性役割態度研究の展望. *心理学研究*,62(4),270-276. doi: 10.4992/jpsy.62.270
- 阿部 真美子, 川上 哲夫, 沢登 芙美子, 高野 牧子, 坂本 玲子, 出口 泰靖, 池田 政子.(2000).ジェンダー・フリー教育研修プログラムの実践的研究：保育者・保護者を対象として. *日本保育学会大会研究論文集*,(53),704-705.
- 青野 篤子.(2007).男女平等とジェンダーに対する保育者の意識. *福山大学人間文化学部紀要 = Journal of the Faculty of Human Cultures and Sciences, Fukuyama University*,7,65-79.
- 青野 篤子, 金子 省子.(2008).保育にかかわる保護者のジェンダー観. *日本家政学会誌*,59(3),135-142. doi: 10.11428/jhej.59.135
- 土肥 伊都子.(1996).ジェンダー・アイデンティティ尺度の作成. *教育心理学研究*,44(2),187-194. doi: 10.5926/jjep1953.44.2_187
- 土肥 伊都子.(2011).家族内のジェンダーの社会化に関する実証的検討 世代間の関連ときょうだい構成に注目して. *家族心理学研究*,25(1),1-12.
- 江原 由美子.(2007).ジェンダー・フリー・バッシングとその影響. *年報社会学論集*,2007(20),13-24. doi: 10.5690/kantoh.2007.13
- 遠藤 まめた.(2015). 性別自認(性同一性障害・性別違和). *季刊セクシュアリティ*.72,80-81
- 藤田 由美子.(2007).子どもの「ジェンダーと身体」をめぐる意識構造 幼児保護者への質問紙調査を手がかりに. *九州保健福祉大学研究紀要*,(8),61-70.
- 藤山 新, 飯田 貴子, 風間 孝, 藤原 直子, 吉川 康夫, 來田 享子.(2014).体育・スポーツ関連学部の大学生を対象としたスポーツと性的マイノリティに関する調査結果. *スポーツとジェンダー研究 = Journal of Sport and Gender Studies : JSGS*,12,68-79.
- 福島 静恵.(2015).多様性を認め合う関係づくりを目指したセクシュアリティ教育の試みー支援教育の視点に立った組織的な取組を通してー. *神奈川県立総合教育センター長期研究員研究報告*.13,55-60.
- 福島 裕子.(2009).若者の自主企画による性の健康とセクシュアリティに関する情報発信の効果. *岩手県立大学看護学部紀要 = Journal of the Faculty of Nursing, Iwate Prefectural University*,11,59-70.

- 二羽 泰子.(2015).マイノリティに非排除的な学校への変容. *教育社会学研究*, 97,25-45. doi: 10.11151/eds.97.25
- Susan Grombok& Robyn Fivush(1994).*Gender Development*. Cambridge University Press. (ゴロンボク&フィバッシュ 小林芳郎&瀧野揚三(訳)(1997). *ジェンダーの発達心理学*.田研出版株式会社).
- 羽入 雪子.(2017).性の多様性—医療を脱した LGBT —. *八戸学院短期大学研究紀要*,44,41-53.
- 針間 克己.(2016).セクシュアリティと LGBT (LGBT と性別違和) -- (LGBT の概念と現状). *こころの科学*,189,8-13.
- 針間 克己.(2016).性別違和のメンタルヘルス (特集 小児の性同一性障害・性別違和). *小児科*,57(11),1305-1309.
- Gregory M. Herek(1994).*The Attitudes Toward Lesbians and Gay Men Scale*.Retrieved from. lgbpsychology.com/html/atlgfile.pdf.
- 日高 庸晴(2015).教職員 5979 人の LGBT 意識調査レポート.Retrieved from.www.health-issue.jp/kyouintyousa201511.pdf.
- 日高 庸晴.(2016).ゲイ・バイセクシュアル男性のメンタルヘルス (LGBT と性別違和) -- (LGBT の概念と現状). *こころの科学*,189,21-27.
- 東 優子.(2016).ジェンダーの多様な子どもたちの健康と権利 (特集 小児の性同一性障害・性別違和). *小児科*,57(11),1319-1325.
- 堀 成美.(2001).学校の性教育は時代のニーズに込えているか (特集 2 ジェンダー問題の今を探る). *児童心理*,55(14),1421-1425.
- 堀部 美穂,渡邊 正樹.(2012).家庭における性教育のための研修プログラムの開発と評価 : 小学生の保護者を対象として. *東京学芸大学紀要.芸術・スポーツ科学系*,64,191-199.
- 星野 恵.(2009).学校教育とジェンダー (特集 性と生のデータ集(2)). *セクシュアリティ*,42,80-85.
- 池田 政子,高野 牧子,阿部 真美子,沢登 芙美子,池田 充裕.(2005).ジェンダーに向き合う保育専門職の養成. *保育学研究*,43(2),245-255. doi: 10.20617/reccej.43.2_245
- 池上 知子.(2014).差別・偏見研究の変遷と新たな展開:—悲観論から楽観論へ—. *教育心理学年報*,53,133-146. doi: 10.5926/arepj.53.133
- 石原 英樹.(2017).性的マイノリティをめぐる地域環境 : 「世界価値観調査」による地域差分析と地域サポート組織の取り組み. *明治学院大学社会学・社会福祉学研究 = the Meiji*

Gakuin Sociology and Social Welfare Review, (147), 1-20.

石井 秀宗.(2007).統計分析のここが知りたい:保健・看護・心理・教育系研究のまとめ方.60-62.文光堂.

石倉 洋子.(1998).学校におけるジェンダー・バイアス:ジェンダー・フリーな教育のために. *白鷗大学論集: The Hakuoh University Journal*, 13(1), 123-146.

石丸 径一郎.(2002).マイノリティ・グループ・アイデンティティ:人はいかにして自らに付与された差異を取り扱うか. *東京大学大学院教育学研究科紀要*, 41, 283-290.

石丸 径一郎.(2004).性的マイノリティにおける自尊心維持—他者からの受容感という観点から—:他者からの受容感という観点から. *心理学研究*, 75(3), 191-198. doi: 10.4992/jjpsy.75.191

Butler Judith P(1990). *Gender trouble feminism and the subversion of identity*. Retrieved from http://lauragonzalez.com/TC/BUTLER_gender_trouble.pdf.

我部山 キヨ子, 寺田 香里, 池田 浩子, 宮崎 つた子, 佐野 和香, 矢野 恵子, 杉本 陽子.(2003).性役割観の世代間比較に関する研究—幼児と青年の父母の調査より—. *母性衛生*, 44(2), 274-280.

金子 省子, 青野 篤子.(2004).保育所・幼稚園におけるジェンダーをめぐる課題. *愛媛大学教育学部紀要.第i部, 教育科学*, 50(2), 131-139.

加藤 千恵子, 高岡 哲子, 鹿野 友恵, 小田 明美.(2010).小学第 5 学年の自己概念とジェンダー・アイデンティティに関連した実態調査「命の授業」前後の比較から. *名寄市立大学紀要*, 4, 17-25.

亀石 知美, 下見 千恵.(2017).第 1 子に小学生がいる保護者の家庭で性教育を行う際の支援に関する検証:父母間での性教育に関する意識の違いについて. *日本赤十字広島看護大学紀要 = Bulletin of the Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing*, 17, 1-7.

小出 寧.(1999).ジェンダー・パーソナリティ・スケールの作成. *実験社会心理学研究*, 39(1), 41-52. doi: 10.2130/jjesp.39.41

厚生労働省.(2016).働く女性の状況.平成 28 年版働く女性の実情. Retrieved from <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/16.html>.

倉敷市教育委員会.(2017).人権教育実践資料 2 性の多様性を認め合う児童生徒の育成. Retrieved from <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/30449.htm>.

栗原 有果.(2011).ジェンダー・タイプと家族イメージに関する研究. *創価大学大学院紀*

要,(33),167-195.

増田 安代,今村 恭子.(2005).高校生の性教育に関する課題を探る : 学校と家庭で享受した性教育と性への認識調査を通して. *九州看護福祉大学紀要*,7(1),79-88.

三木 佳子,法橋 尚宏,前川 厚子.(2013).わが国の保健医療領域におけるセクシュアリティの概念分析. *日本看護科学会誌*,33(2),70-79.

三木 幹子,植木 由香.(2010).女子大学生と女子高校生の恋愛観・結婚観とジェンダー意識との関係. *広島女学院大学論集*,60,95-109.

三村 保子,力武 由美.(2006).保育・子育て実践における「個の尊重」: ジェンダーの視点から再考する(短期大学部 保育科). *西南女学院大学紀要*,10,143-152.

三村 保子,力武 由美.(2007).保育・子育て実践に関する「参加型ワークショップ」を用いた: ジェンダー・バイアスへの「気づきプログラム」および「評価方法」. *西南女学院大学紀要*,11,163-171.

宮本 純子.(2007).乳幼児をもつ母親の育児不安についての研究 ライフコース、性役割態度、時間的展望との関連から. *心理臨床学研究*,25(3),346-355.

百瀬 靖子.(2006).女子大生とその家族のジェンダーバイアス : 2000・2001・2002・2003・2004 (第 i 報) 年中行事編. *東京家政大学研究紀要*,1, 人文社会科学,46,91-100.

百瀬 靖子.(2007).女子大生とその家族のジェンダーバイアス (第 ii 報): 家族文化としての生活場面編. *東京家政大学博物館紀要*,12,13-26.

百瀬 靖子.(2008).女子大生とその家族のジェンダーバイアス (第 iii 報): 生活文化としての夫婦関係編. *東京家政大学博物館紀要*,13,21-38.

文部科学省.(2015).性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施について.

Retrieved from.
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/04/1357468.htm[2017.06.21].

文 吉英.(2015).日本における母親の教育価値観及び子どもへの期待が養育態度に与える影響: 首都圏に居住する母親を中心に. *言語文化と日本語教育*,50,81-90.

森 美加,高橋 道子,牛島 定信,中山 和彦.(2005).性同一性障害における性役割志向. *臨床精神医学*,34(7),951-957.

森 良一.(2008).学校における性に関する指導について(学習指導要領に基づいて).

Retrieved from.
www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001dh87-att/2r9852000001dhhq.pdf

- 森永 康子.(2001).家庭で健康なジェンダー観を育成する (ジェンダー問題の今を探る). 児童心理,55(14),120-125.
- 森脇 裕美子.(2012).欧州におけるセクシュアリティ教育 充実への取組み .Retrieved from.www.jase.faje.or.jp/jigyo/journal/seikyoiku_journal_201206.pdf
- 森屋 宏美, 石橋 宏之, 和田 久美子.(2012).幼児期の母親が理解する「人の多様性」. 日本遺伝看護学会誌,10(2),3-9.
- 向田 久美子.(1998).子どもの偏見に及ぼす親の影響について. 性格心理学研究,6(2),82-94. doi: 10.2132/jjpjspp.6.2_82
- 村井 文江, 江守 陽子.(2014).小学校 3 年生の保護者がとらえる"性教育"と"家庭における性教育の取組み"に関する質的分析 思春期の子どもを持つ家庭における性教育の支援の検討に向けて. 思春期学,32(1),176-187.
- 村松 十和.(2002).思春期の性的成熟とジェンダー意識 身体発育の自己受容を媒介として. 岐阜医療技術短期大学紀要,(18),9-30.
- 村松 泰子.(2003).学校教育とジェンダー:研究と実践の動向. 学術の動向,8(4),36-40. doi: 10.5363/tits.8.4_36
- Julie L. Nagoshi, Katherine A. Adams, Heather K. Terrell, Eric D. Hill, Stephanie Brzuzy & Craig T. Nagoshi(2008).*Gender Differences in Correlates of Homophobia and Transphobia*. Retrieved from. https://www.researchgate.net/publication/226589320_Gender_Differences_in_Correlates_of_Homophobia_and_Transphobia[2017.06.21].
- 内閣府男女共同参画局.(1999).男女共同参画社会基本法 .Retrieved from. <http://www.gender.go.jp/about/danjo/law/kihon/9906kihonhou.html>
- 中井 美樹.(2000).若者の性役割観の構造とライフコース観および結婚観. 立命館産業社会論集, 36(3), 117-127.
- 中塚 幹也.(2013).「性同一性障害」を性教育で取りあげる. Retrieved from http://www.jase.faje.or.jp/jigyo/journal/seikyoiku_journal_201308.pdf.
- 中塚 幹也.(2016).性同一性障害：総論(特集 小児の性同一性障害・性別違和). 小児科,57(11), 1299-1304.
- 中村 愛.(2016).多様なセクシュアリティの人々に対する看護職者の態度とケアの困難感に関連する要因の探索.聖路加国際大学修士論文.

- 西村 良二.(2014).【新しい精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-V)ガイド】 ジェンダー
ディスフォリア(性別違和)とパラフィリア障害. *医学のあゆみ*,248(3),215-218.
- 野村 明子, 藪本 紗智子, 東 孝子, 羽座 典子, 朝飛 きよみ, 井上 ひさの, 猿渡 善
治.(2001).人工妊娠中絶を受けた女性の意識調査 避妊と STD について. *母性衛
生*,42(4),581-590.
- NPO 法人性同一性障害支援機構.(2014). *性同一性障害者数*.Retrieved from
<http://www.npogid.or.jp/lgbt/size/>.[2017.06.22]
- 及川 裕子.(2001).幼児期の性教育の課題：保育者の意識調査を通して. *日本赤十字武蔵野
短期大学紀要*,14,159-164.
- 岡垣 竜吾.(2015).脳の性分化と性別違和（特集 いま,性分化とその異常を考える）. *産婦人科
の実際*,64(10),1289-1293.
- 岡崎 愉加.(2014).思春期の性に関する子育て支援：親が性教育を実施していない理由. *日
本看護学会論文集.母性看護*,44,66-68.
- 斉藤 早苗, 末原 紀美代.(2007).就労女性の性感染症に関する知識と意識. *母性衛生 =
Japanese Journal of Maternal Health*,47(4),571-581.
- 坂口 由紀子, 橋本 紀子.(2009).親の性役割態度が養育態度および幼児の社会的行動に与え
る影響. *女子栄養大学紀要*,40,69-77.
- 坂口 由紀子, 宍戸 路佳, 久保 恭子, 後藤 恭一.(2015).看護系大学生のジェンダー因子構
造と親のイメージとの関連. *教育学研究室紀要：「教育とジェンダー」研究*,12,22-29.
- 坂口 由紀子, 橋本 紀子.(2009).親の性役割態度が養育態度および幼児の社会的行動に与え
る影響. *女子栄養大学紀要*,40,69-77.
- 佐野 まゆ, 高田谷 久美子, 近藤 洋子.(2007).大学生における性役割志向によるライフコ
ース観の比較. *山梨大学看護学会誌*,6(1),45-52.
- 佐々木 掌子.(2007).性同一性障害当事者におけるジェンダー・アイデンティティと典型的性
役割との関連. *心理臨床学研*, 25(2), 240-245.
- 佐々木 掌子.(2016).小児の性別違和と性同一性障害：総論（特集 小児の性同一性障害・性
別違和）. *小児科*,57(11),1311-1318.
- 佐々木 掌子, 尾崎 幸謙(2007).ジェンダー・アイデンティティ尺度の作成. *パーソナリティ
研究*,15(3),251-265. doi: 10.2132/personality.15.251
- 佐藤 和順, 田中 亨胤.(2003).幼稚園におけるジェンダー・フリー・プログラムに関する研

- 究--ジェンダー・バイアス・フェードアウト保育を目指して. *教育実践学論集*, (4), 21-32.
- Edward Schiappa, Peter B. Gregg & Dean E. Hewes (2005). *The Parasocial Contact Hypothesis*. Retrieved from.
<https://www.google.co.jp/search?q=The+Parasocial+Contact+Hypothesis.&oeq=The+Parasocial+Contact+Hypothesis.&aqs=chrome..69i57j0j69i60.1776j0j8&sourceid=chrome&ie=UTF-8#>.
- 清水 隆子.(2003). 幼児の色彩選好と親のジェンダー意識：ピンク色選好にみられるジェンダー・スキーマー. *早稲田大学大学院教育学研究科紀要. 別冊*, 11(1), 87-95.
www.sfu.ca/psyc/faculty/wrights/publications/JPSP1997.pdf.
- 杉浦 郁子.(2013). 「性同一性障害」概念は親子関係にどんな経験をもたらすか：—性別違和感をめぐる経験の多様化と概念の変容に注目して—. *家族社会学研究*, 25(2), 148-160.
doi: 10.4234/jjoffamilysociology.25.148
- 鈴木 康江, 佐々木 くみ子, 片山 理恵, 前田 隆子.(2005). 思春期性教育活動に向けての基礎調査：中学生, 保護者, 教師の意識調査から. *母性衛生 = Japanese Journal of Maternal Health*, 45(4), 512-517.
- Atsuko Suzuki (1991). Egalitarian sex role attitudes: Scale development and comparison of American and Japanese women. *Sex Roles*. 24(5). 245-259.
- 鈴木 淳子.(1994). 平等主義的性役割態度スケール短縮版 (SESRA-S) の作成. *心理学研究*, 65(1), 34-41. doi: 10.4992/jjpsy.65.34
- 鈴木 淳子.(1996a). 若年女性の平等主義的性役割態度と就労との関係について：就労経験および理想の仕事キャリア・昇進パターン. *社会心理学研究*, 11(3), 149-158. doi: 10.14966/jssp.KJ00003724693
- 鈴木 淳子.(1996b). 若年女性のキャリア選択規定要因に関する縦断的研究 同一組織における就労継続および転職：同一組織における就労継続および転職. *心理学研究*, 67(2), 118-126. doi: 10.4992/jjpsy.67.118
- 鈴木 淳子, 柏木 恵子 (2006). *ジェンダーの心理学 心と行動への新しい視座*. 培風館.
- 高野 加奈恵, 我部山 キヨ子.(2017). 男女大学生の家事・育児に対する意識調査. *京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要：健康科学：Health Science*, 12, 1-7. doi: info:doi/10.14989/227228
- 玉里 八重子, 岡山 久代.(2006). 0～3 歳児を持つ母親の養育意識・行動に対する父親及び母

- 親の性役割態度の影響. *滋賀医科大学看護学ジャーナル*, 4(1), 40-44.
- 田代 美江子.(2014).学習指導要領の枠組みの中で日本の性教育の可能性を考える : 「日本における包括的性教育の手引き」構築の試み (特集 日本の性教育を展望する : 世界の
中の日本). *Sexuality*, 65, 22-37.
- 田代 美江子, 渡辺 大輔, 艮 香織.(2014).ジェンダー・バイアスを問い直す授業づくり: 「性の多様性」を前提とする中学校の性教育. *埼玉大学教育学部教育実践総合センター紀要 = Journal of Integrated Center for Clinical and Educational Practice*, (13), 91-98.
- 田代 美江子(2015). リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖の健康と権利). *季刊セクシュアリティ*. 72, 89-91.
- 立石 宏昭.(2002).社会福祉教育現場における価値観の変容--精神障害者観の意識調査と実践教育. *職業リハビリテーション*, 15, 45-51.
- 戸口 太功耶, 葛西 真記子.(2015).性の多様性に関する教育実践の国際比較. *鳴門教育大学学校教育研究紀要*, (30), 65-74.
- 富田 道子.(2015).女子学生の性意識・性行動に着目して : 大学における「セクソロジー」の授業の効果. *広島都市学園大学雑誌 : 健康科学と人間形成 = Journal of Hiroshima Cosmopolitan University : Health Sciences and Human Formation*, 1(1), 29-39. doi: info:doi/10.18883/johcu.0101.04
- 内田 伸子, 田中 京子, 荻原 万紀子, 菊池 美千世, 増田 かやの, 富山 尚子.(2006).ジェンダーフリー教育の実践研究とその普及 : ジェンダーをめぐる高校生とその両親の意識. *お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター紀要*, 3, 89-96.
- 上野 淳子.(2008).心理学における性的マイノリティ研究:教育への視座. *四天王寺大学紀要*, (46), 73-83.
- 魚橋 慶子.(2009).性の多様性に対応する人権教育についての考察--大学教育への提案. *東北学院大学教育研究所報告集*, 9, 49-62.
- 渡辺 大輔.(2015a). 性(的)指向. *季刊セクシュアリティ*. 72, 84-85.
- 渡辺 大輔.(2015b).性の多様性. *季刊セクシュアリティ*. 72, 77-79.
- 渡邊 典子, 石崎 トモイ, 池田 かよ子.(2004).大学生の性の実態と今後の性教育のあり方
大学生が受けてきた性教育,性に関する悩み,知識や意識,対処行動の調査から. *思春期学*, 22(4), 547-554.

- World Association for Sexual Health (2005). モントリオール宣言 “ミレニアムにおける性の健康” . Retrieved from. www.jex-inc.co.jp/assets/images/montreal.pdf.
- World Association for Sexual Health(2014). 性の権利宣言. Retrieved from.www.worldsexology.org/wp-content/uploads/2014/10/DSR-Japanese.pdf.
- World Health Organization(2006). *Defining sexual health: Report of a technical consultation on sexual health 28–31 January 2002, Geneva*. Retrieved from. http://www.who.int/entity/reproductivehealth/publications/sexual_health/defining_sexual_health.pdf?ua=1.
- Stephen C. Wright, Arthur Aron and Tracy McLaughlin-Volpe & Stacy A. Ropp (1997). *The Extended Contact Effect: Knowledge of Cross-Group Friendships and Prejudice*. Retrieved from.
- Lester W. Wright Jr., Henry E. Adams, & Jeffrey Bernat (2010). *The Homophobia Scale*. Retrieved from. <http://www.midss.org/content/homophobia-scale> [2017.08.11].
- 山口 創生, 三野 善央.(2007).精神障害者に対する偏見減少のための教育的介入の効果 高校生における教育的介入の評価. 日本公衆衛生雑誌, 54(12), 839-846. doi: 10.11236/jph.54.12_839
- 柳原 真知子.(2000).看護学生のセクシュアリティとセクシュアリティ教育. 東北大学医療技術短期大学部紀要 = *Bulletin of College of Medical Sciences, Tohoku University*, 9(2), 161-173.
- 安川 悦子.(1998). ジェンダーフリーが二十一世紀を切り拓く. 性と生の教育, 25, 14-21.
- 横田 恵子.(2006).包括的性教育の推進を阻むジェンダーフリー教育バッシング : Hiv/aids 予防教育を阻害する日本の現状(戦後 60 年・ポスト北京の 10 年). 女性学評論, 20, 21-39. doi: info:doi/10.18878/00002326
- 吉川 麻衣子.(2017).沖縄県の学校現場における「性の多様性」の実態 : 教職員を対象とした基礎調査をもとに. 沖縄大学人文学部紀要 = *Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences*, (19), 1-15.
- 吉澤 昌恭.(2005).「ジェンダー・ステレオタイプ」と「ジェンダー・フリー」. 広島経済大学研究論集, 28(2), 1-24.
- 湯川 隆子, 石田 勢津子.(2005).ジェンダー認知の変容とその測定方法の検討. 奈良大学紀要, (33), 81-93.